

小樽市観光入込調査 デジタル技術活用業務 分析結果（年計総括版）

2025.3.27



Pacific
Consultants

令和6年度 小樽市観光入込調査デジタル技術活用業務

【業務目的】

- 小樽市では、昭和35年度から観光入込客数調査を実施しているが、外国人の日帰り客数や観光客の移動等については把握していない。また、適時性・迅速性に欠け、調査協力施設等（観光地点）の確保が難しいといった課題がある。
- 外国人観光客が増加するなど小樽観光を取り巻く状況は変化しており、データ分析に基づく「打ち手」を検討する必要があることから、本業務においては、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じ、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく来訪者（国内・外国人）の把握を目的とする。
- また、小樽市がこれまで実施してきた観光入込客数調査をGPS人流データを使用した調査に切り替える場合の両者の結果の違いの傾向を把握するとともに、GPS人流データを用いる際の観光入込客の定義や、観光入込客の移動元・移動先分布に係るデータ取得のあり方、観光消費額算定上の観光入込客数（実人数）把握のあり方についての検討も併せて行うことを目的とする。

【調査対象地】 小樽市全域のほか、以下の8エリア

- ① **中心部エリア** : 稲穂、花園、色内1・2丁目、港町（第3ふ頭除く）、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1・2丁目、住之江、住吉町、若松
- ② **小樽運河** : 小樽運河周辺（運河公園～浅草橋先）
- ③ **祝津・高島・手宮エリア** : 色内3丁目、手宮、高島、祝津
- ④ **天狗山エリア** : 天狗山、最上2丁目
- ⑤ **築港エリア** : 有幌町、信香町、築港（勝納ふ頭除く）
- ⑥ **朝里川温泉エリア** : 新光5丁目、朝里川温泉
- ⑦ **銭函・張碓エリア** : 張碓町、春香町、桂岡町、銭函1～3丁目、見晴町、星野町
- ⑧ **第3ふ頭〈クルーズ〉** : 港町（第3ふ頭のみ）

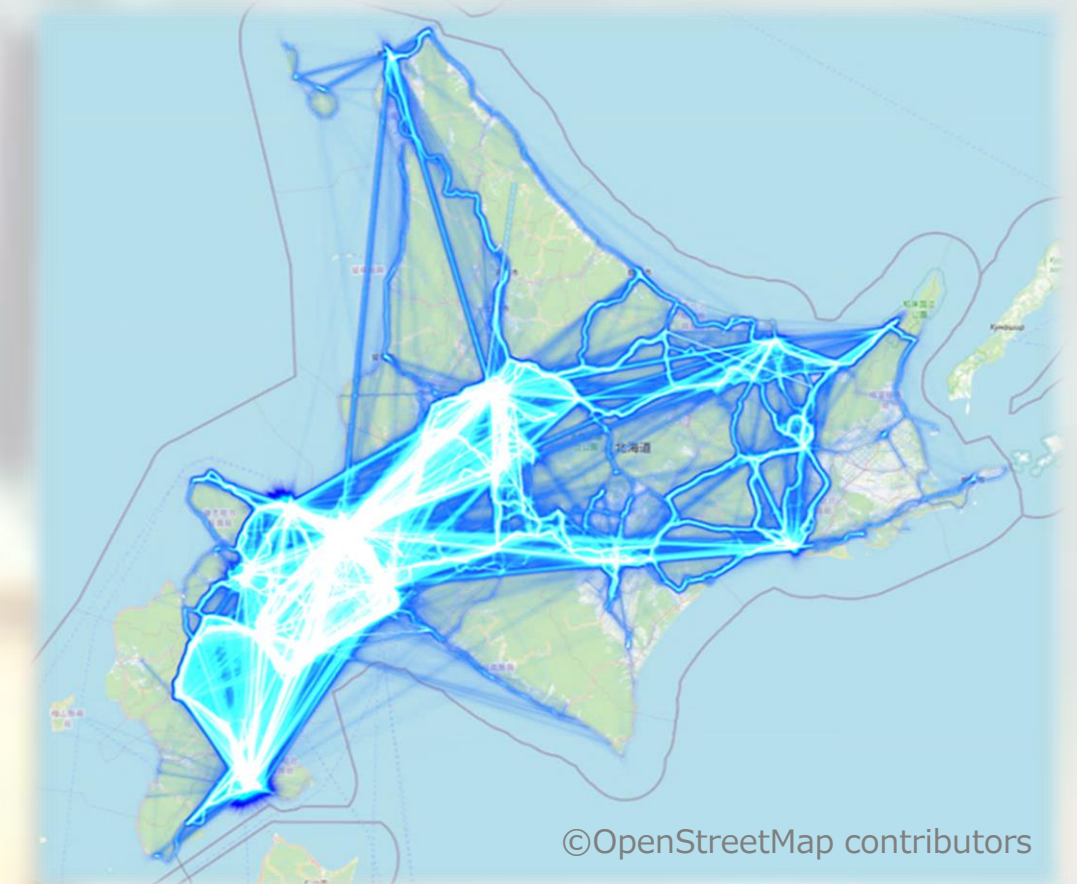


全国インバウンド統計

【網羅性】 24時間365日、全国数千万人のインバウンドの移動を高精度に把握

【機能性】 独自のロジック (特許技術) から、来訪・周遊動向を居住国別や交通手段別に分析

【有用性】 ご要望に応じ可視化・解釈や施策検討まで伴走、真に役立つアウトプットを提供



できること

インバウンド携帯端末のGPS位置情報 Powered by 

メニュー

施設来訪分析 

エリア来訪分析 

広域周遊分析 

分析項目

※選択内容によりお見積りいたします。

来訪人数 / 宿泊客数

滞在時間 / 宿泊日数

居住国 (中・露は除く)

交通手段・移動経路

+ オプション ・性別 ・年代 ・拡大推計(居住国別) ・消費スタイル ・集客施策案の検討

ユースケース

観光

- ・各観光地等への来訪状況の把握
- ・in-out空港や周遊ルートの把握
- ・重点ターゲット・ペルソナの検討
- ・プロモーション検討、効果検証 等



交通

- ・二次交通検討・周遊ルート造成
- ・多言語対応コンテンツによる誘客
- ・道路整備効果検討の多角化
- ・交通安全対策検討の強化

商業・不動産

- ・商品仕入・テナント誘致の最適化
- ・ライバル施設等への来客分析
- ・出店候補地への来訪客層把握
- ・開発・不動産投資の重点検討

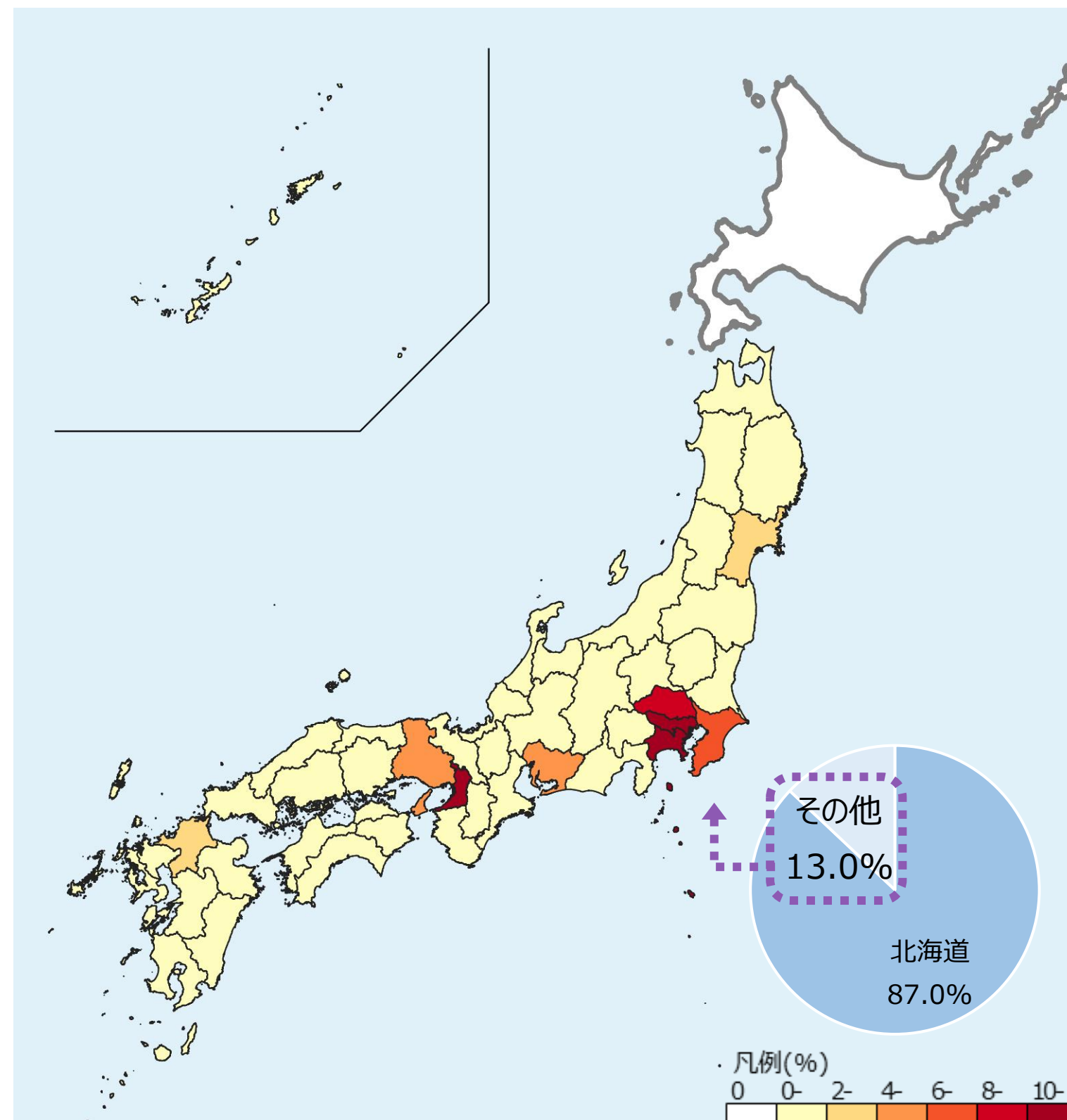
項 目	内 容
「（日本人）観光客」の定義について	日本人全体から、小樽市民のほか、小樽市に月6回以上来訪している人※および小樽市内が通勤/通学先と判定されている人を除いたもの。 ※「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」（以下「共通基準」という）の定義に基づく。
インバウンドの捕捉について	国家体制上、中国人の位置情報は捕捉することができないため、以下の方法で人数の補完を行っている。 ①新千歳空港の出入国管理統計から、「中国人」と「台湾人＋香港人＋韓国人」の比率を算出。 ②人流データにおける「台湾人＋香港人＋韓国人」の合算値に上記比率を掛け合わせ、「中国人」の人数を補完。 ※中国人のほかロシア人の位置情報も捕捉することができないが、統計上無視できる状況にある（新千歳空港の入管統計で約2.5人/日）。
拡大推計について	主に、国別のサンプル率（日本人・インバウンド）、人口統計（日本人）、出入国管理統計（インバウンド）により、国別の拡大推計を実施している（いずれも詳細は非公開）。 なお、拡大推計も含め本頁記載の各種ロジックは、同一業務内で変更されるものではなく、安定性を確保している。
滞在判定について	15分以上 同一の500mメッシュに位置情報が存在した場合に「滞在」、それ以外を「移動」と判定している。 なお、エリアが狭域である小樽運河に限り、5分以上 エリア内に位置情報が存在した場合に「滞在」、それ以外を「移動」と判定している。
宿泊地/居住地判定について	午前2-3時台に最も多く滞在していた地点を宿泊地、数か月間に最も多く滞在していた宿泊地を居住地と判定している。 ※共通基準では「午前4時に滞在していた地点を宿泊地とみなす」としているが、午前4時ちょうどに位置情報を捕捉できるとは限らないため。
交通手段判定について	位置情報の「移動ルート」と「移動速度」により判定を行っており、JR/クルーズ/自動車/徒歩 の4つに分類される。 なお、自転車については走行速度に幅があることから、10km/hを閾値として自動車または徒歩に振り分けている。
個人情報保護について	位置情報から個人が特定されないよう、緯度経度がずらされて記録されることがある。 また、同様の観点から一定の閾値を下回ったデータは秘匿されるが、その可能性は分析項目により異なる。 インバウンドの一例として、「居住地」は国のみで細分化されており秘匿可能性が比較的低いが、「来訪時間帯×周遊先分布」は、国・時間帯・周遊先の掛け合わせとなるため秘匿可能性が高くなる。

小樽市全域来訪者の居住地（2024年）

- 道外客は東京・神奈川・大阪からの来訪が特に多い。道内客は道央のほか旭川・函館からの来訪が特に多い。
- インバウンドは韓国が最も多くおよそ4割を占め、次いで台湾・香港が多い。

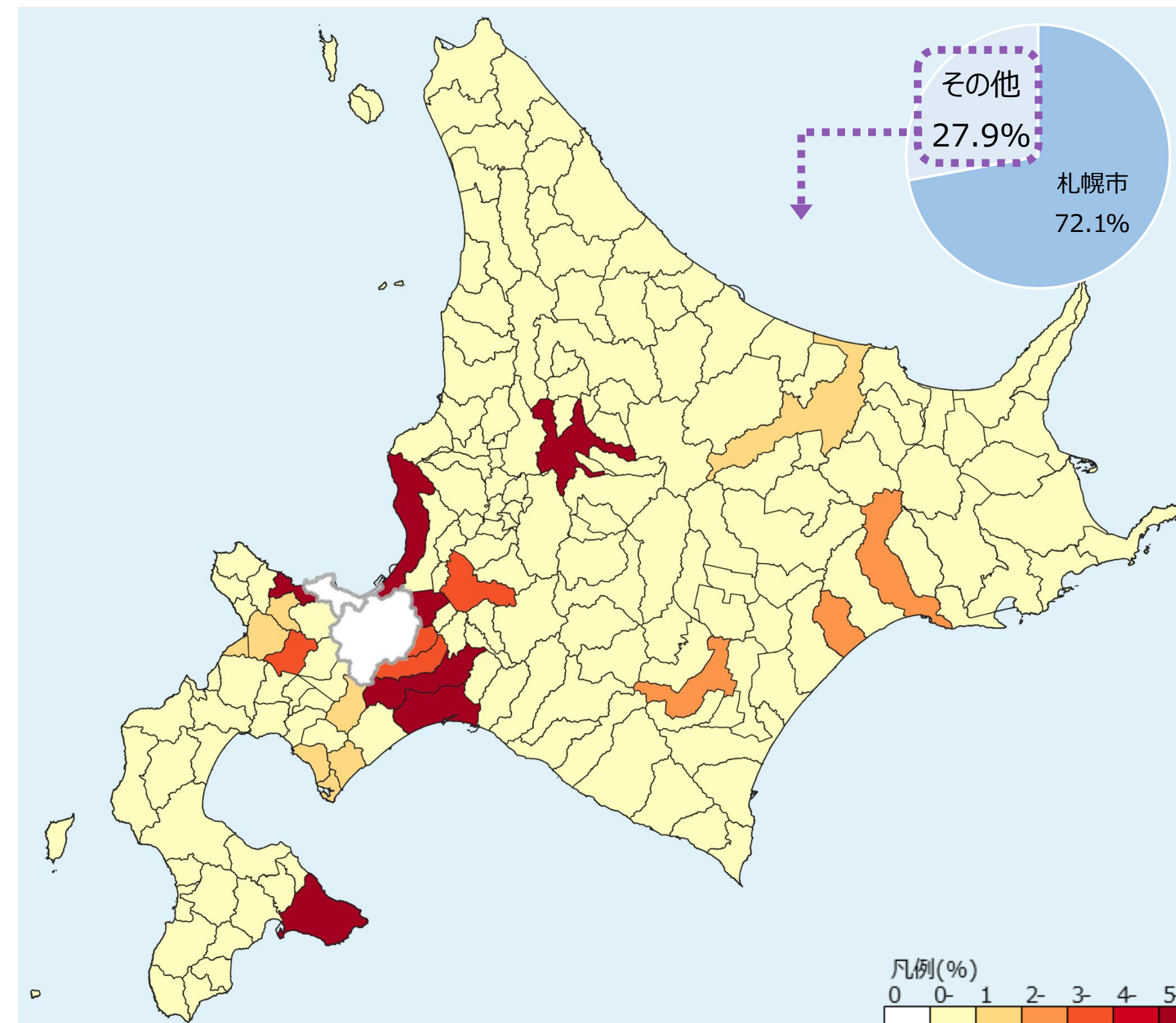
● 居住地（日本人観光客-全国）

道外客2,255.0人、道内客15,049.1人（一日当たり）



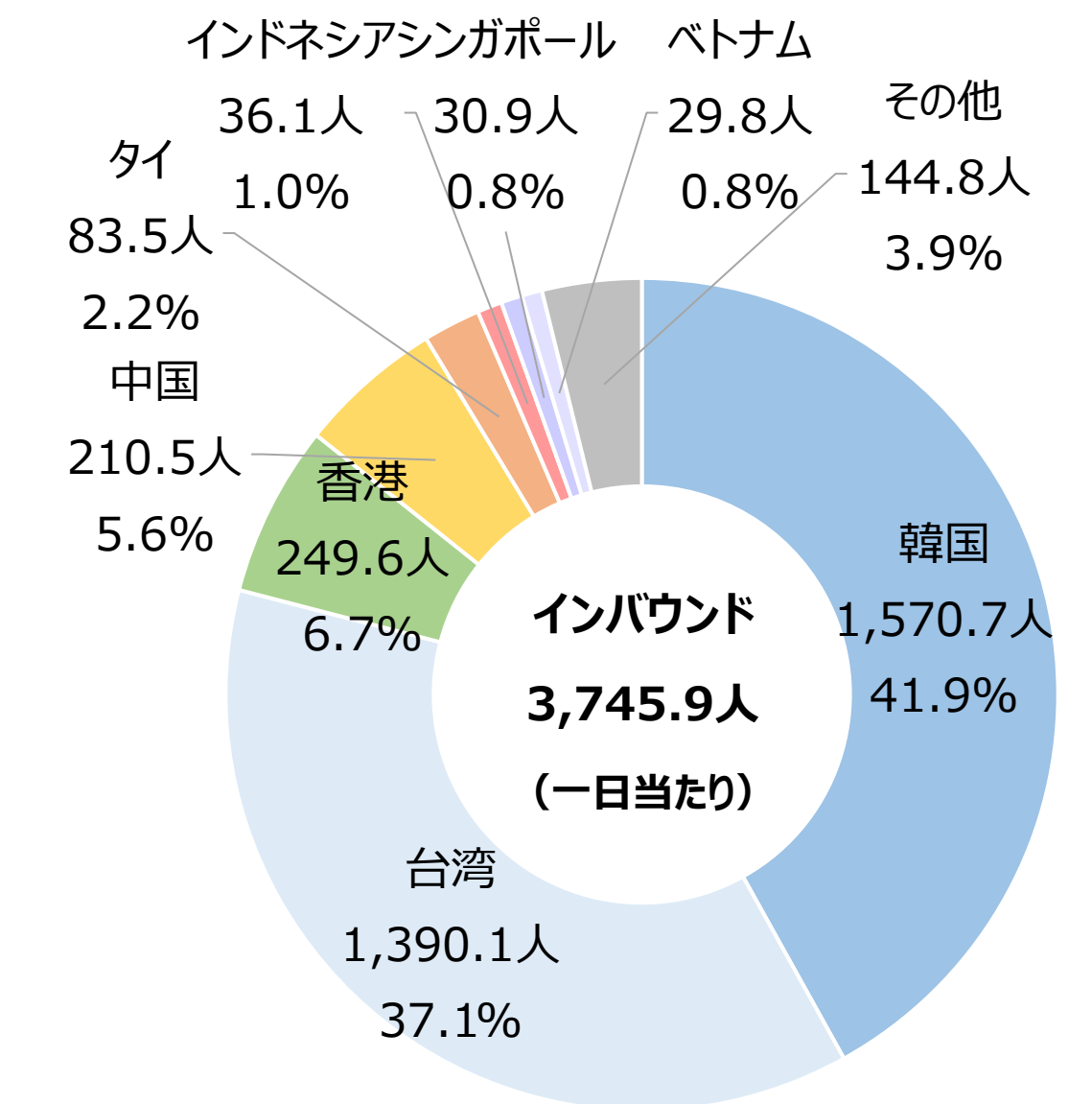
※ヒートマップは、北海道民を除いた全国の合計値を100%としている。

● 居住地（日本人観光客-全道）



※ヒートマップは、小樽市民と札幌市民を除いた全道の合計値を100%としている。

● 居住地（インバウンド）

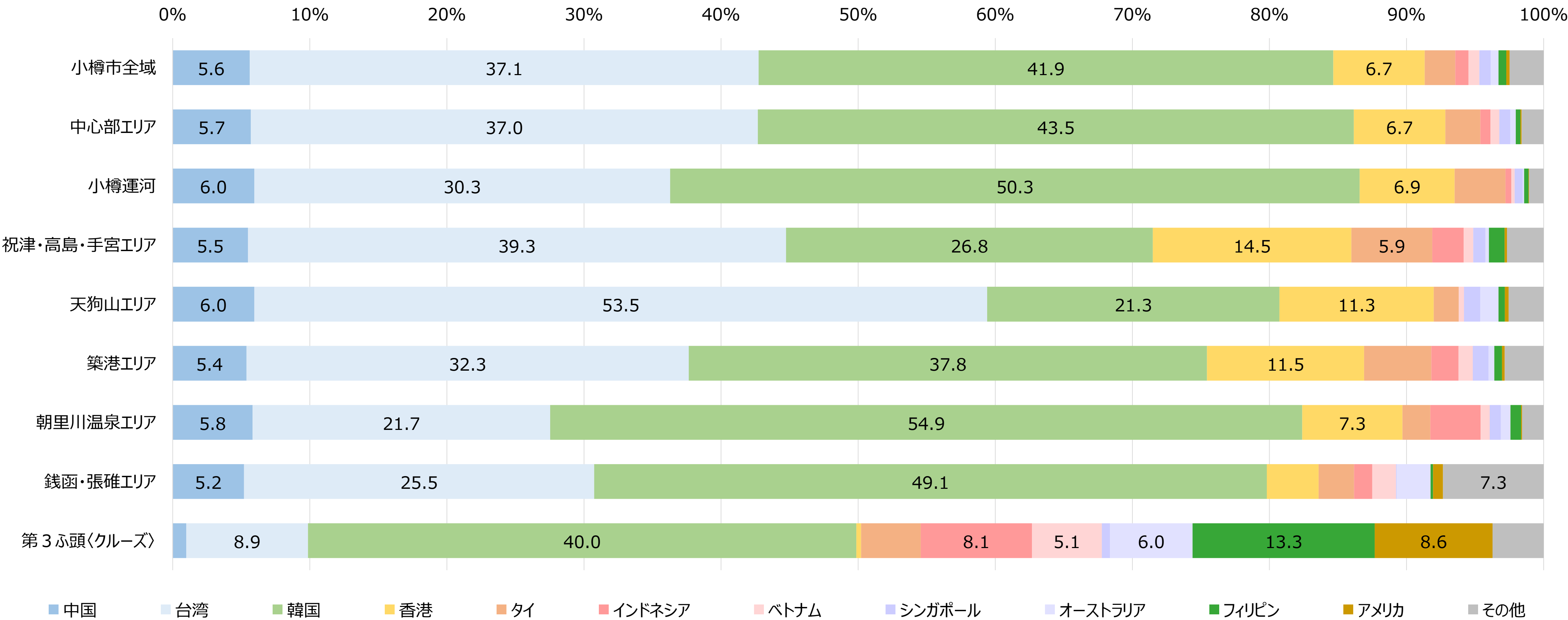


※インバウンドの合計値を100%としている。
 なお、中国人・ロシア人については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

各エリア来訪者の居住国（2024年）

- 第3ふ頭〈クルーズ〉以外の各エリアでは、台湾と韓国からの来訪が多い。天狗山は台湾、朝里川温泉は韓国からの来訪が特に多い。
- 第3ふ頭〈クルーズ〉では、東アジアからの来訪が比較的少なく、フィリピン・アメリカ・インドネシアの多さが特徴的である。

● 居住国【インバウンド】

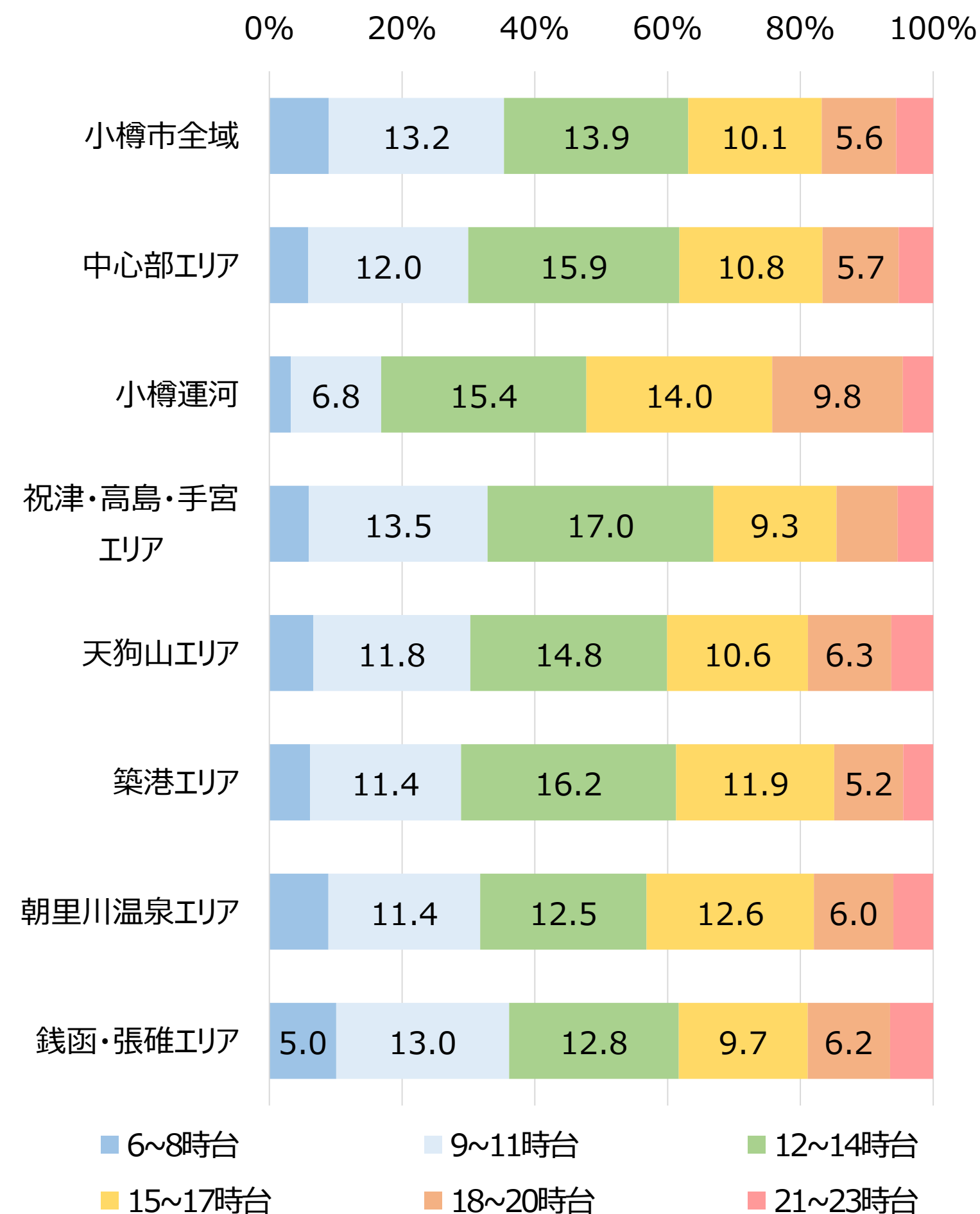


各エリア来訪者の来訪時間帯（2024年）

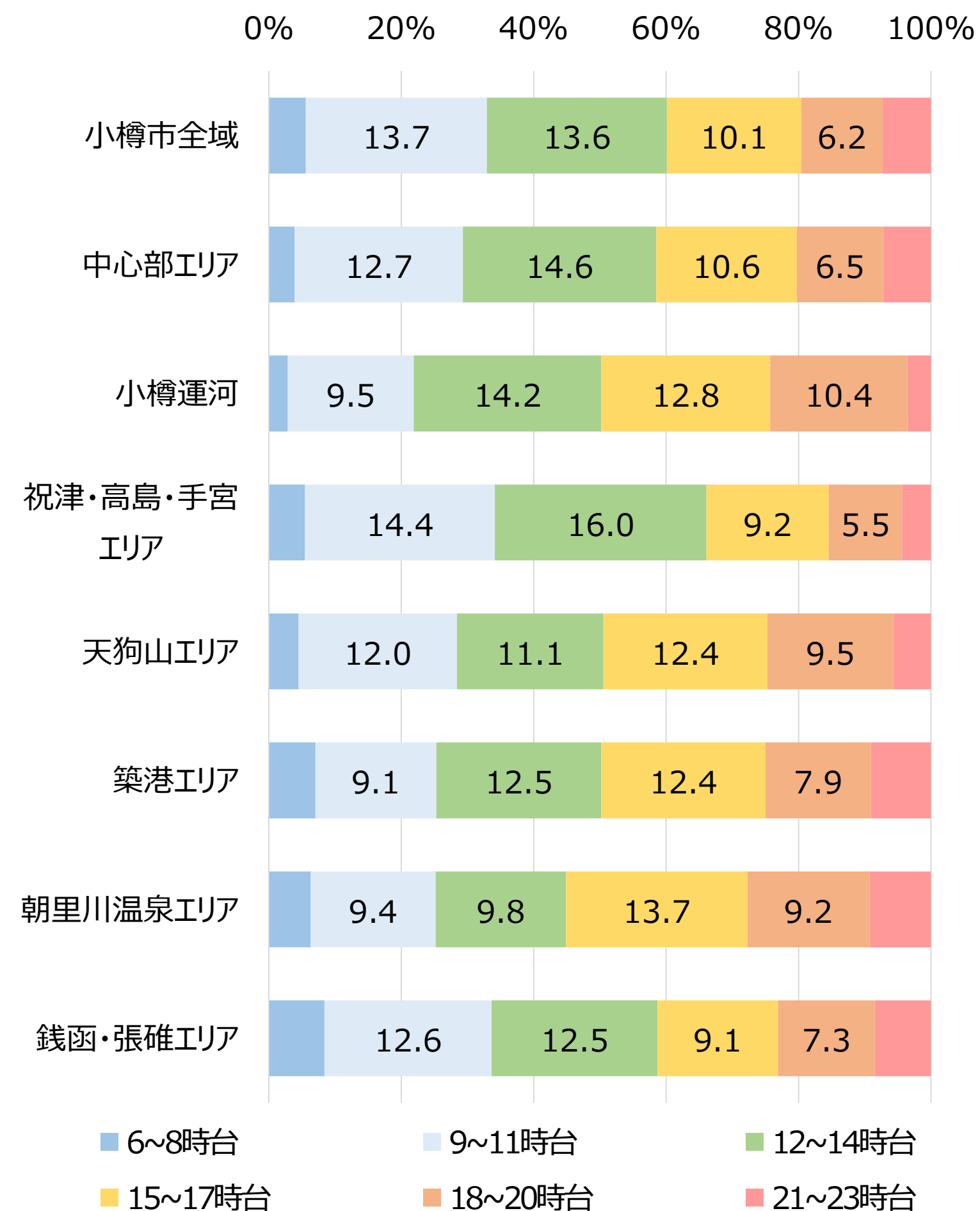
➤ 概ね9～14時台がピークである。インバウンドでは、夜景需要がみられる天狗山エリアと宿泊地である朝里川温泉エリアにおいて、15時以降の来訪が特に多くなっていることが特徴的である。

● 来訪時間帯分布

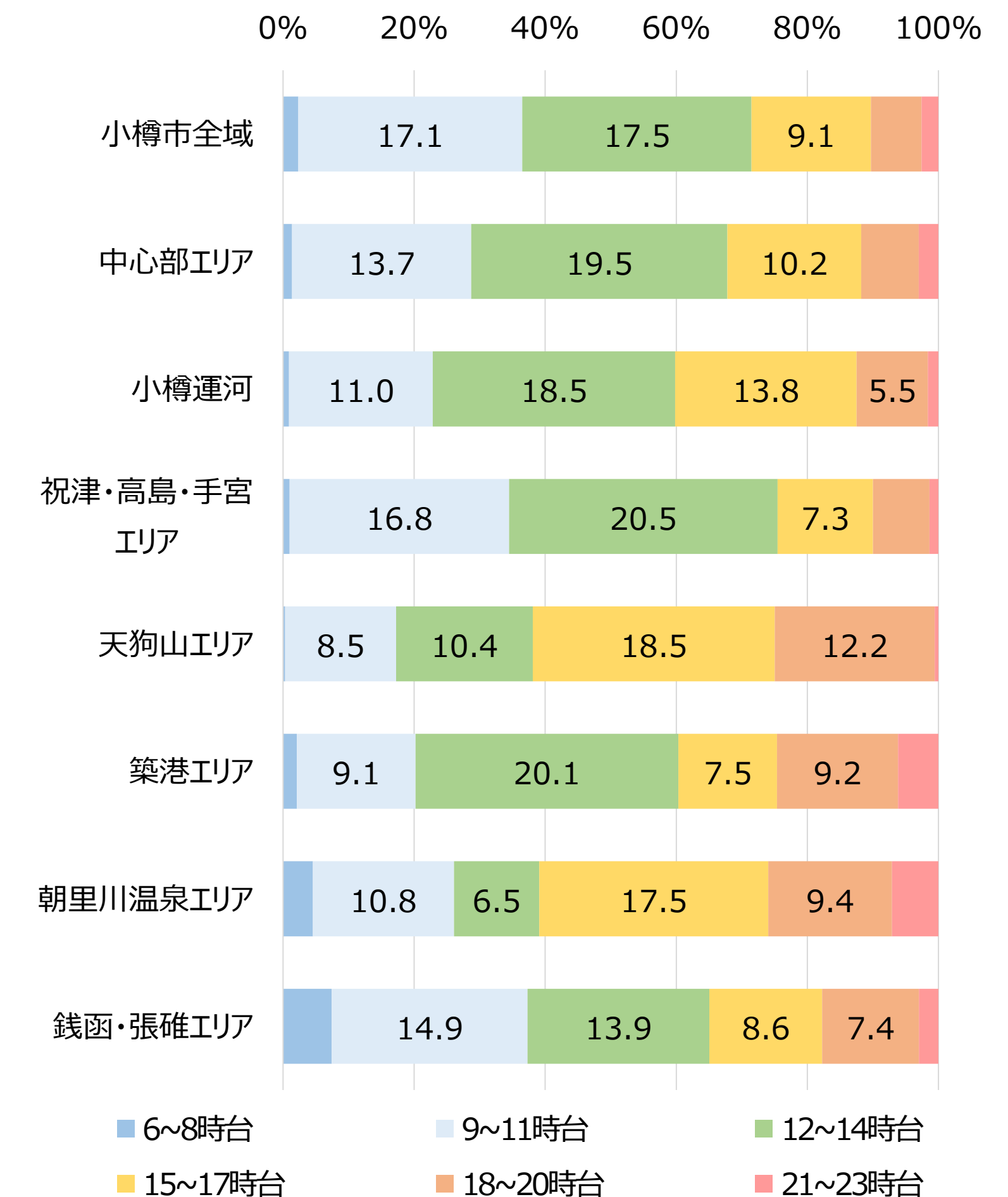
【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



【インバウンド】

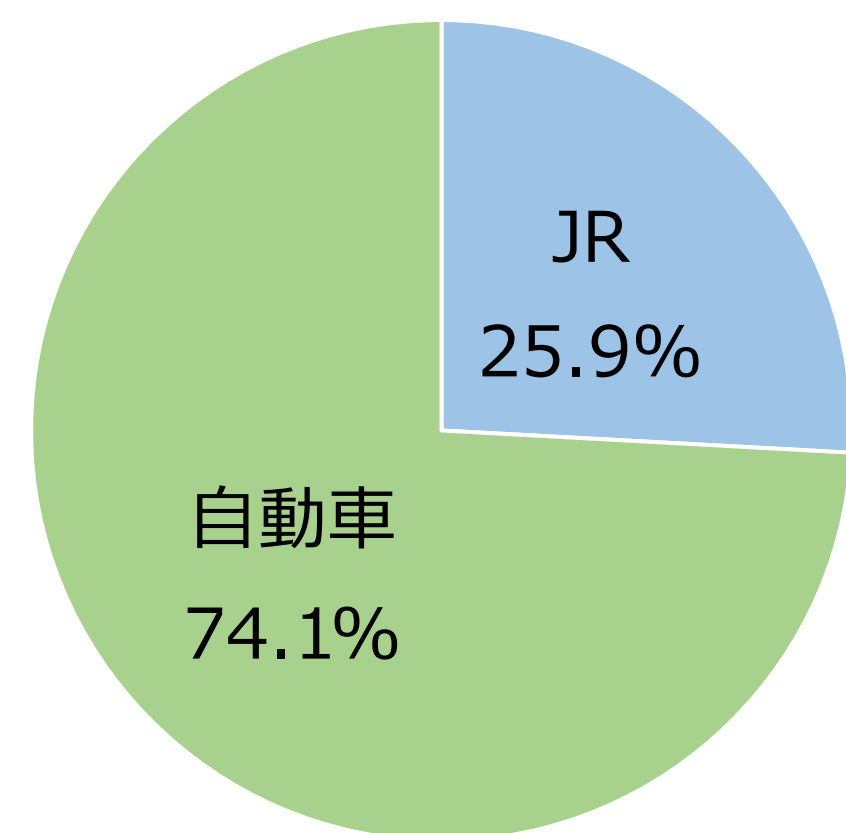


小樽市全域来訪者の利用交通手段（2024年）

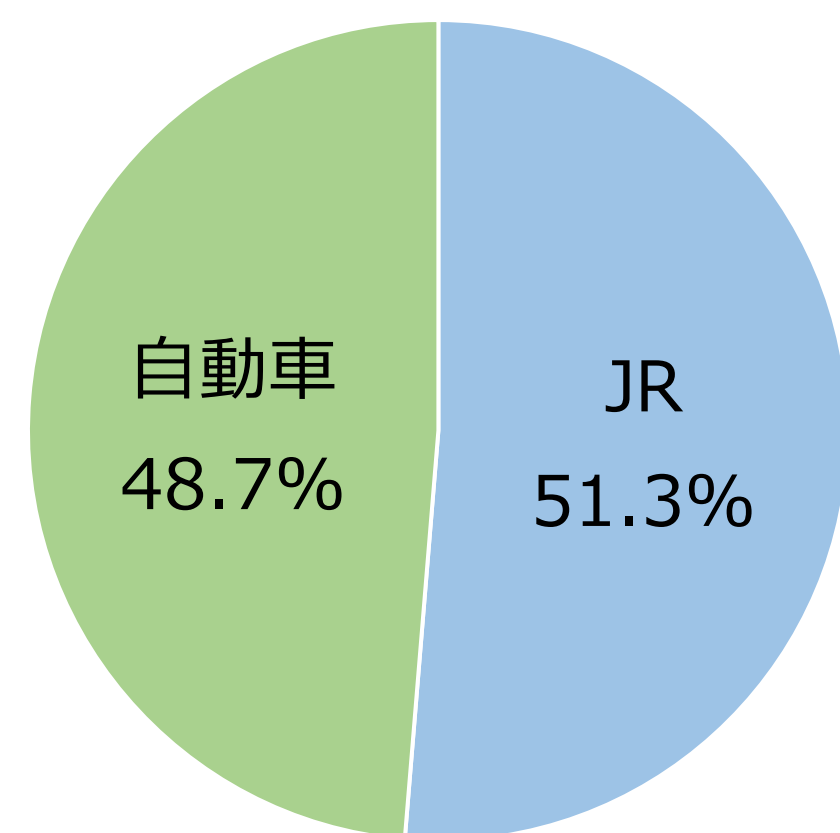
- 道内客や東アジア・東南アジア居住者は自動車の利用が多く、およそ 7 割を占める。
- 他方、道外客や欧米豪居住者はJRの利用が比較的多く、5 割超を占める。

● 利用交通手段分布 〈JR・自動車〉 ※自動車にはマイカー・レンタカー・バスのいずれも含む

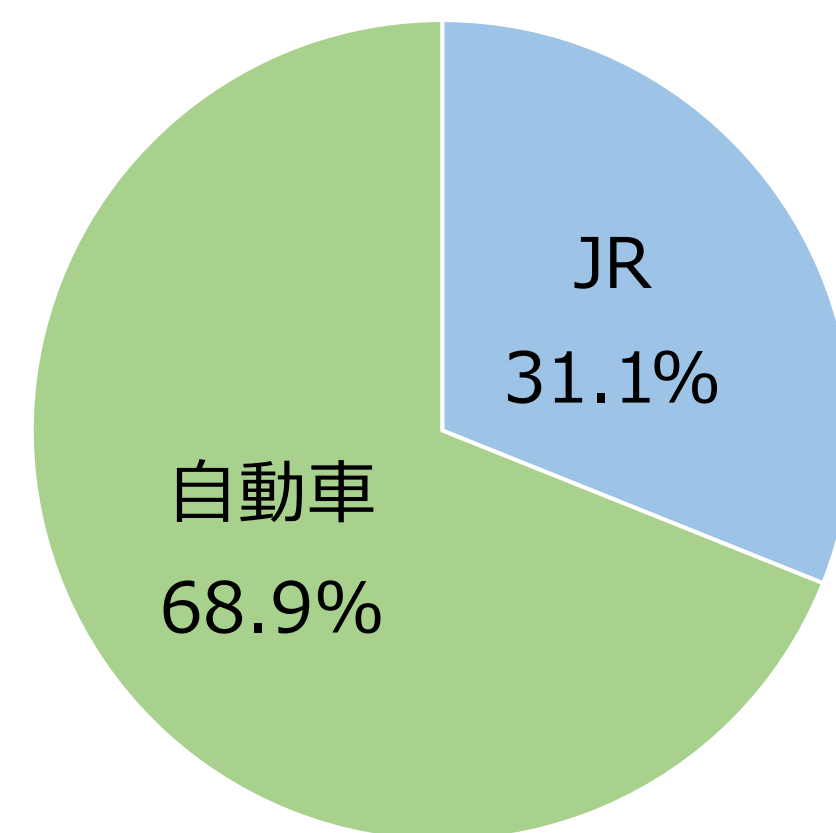
【日本人観光客(道内)】



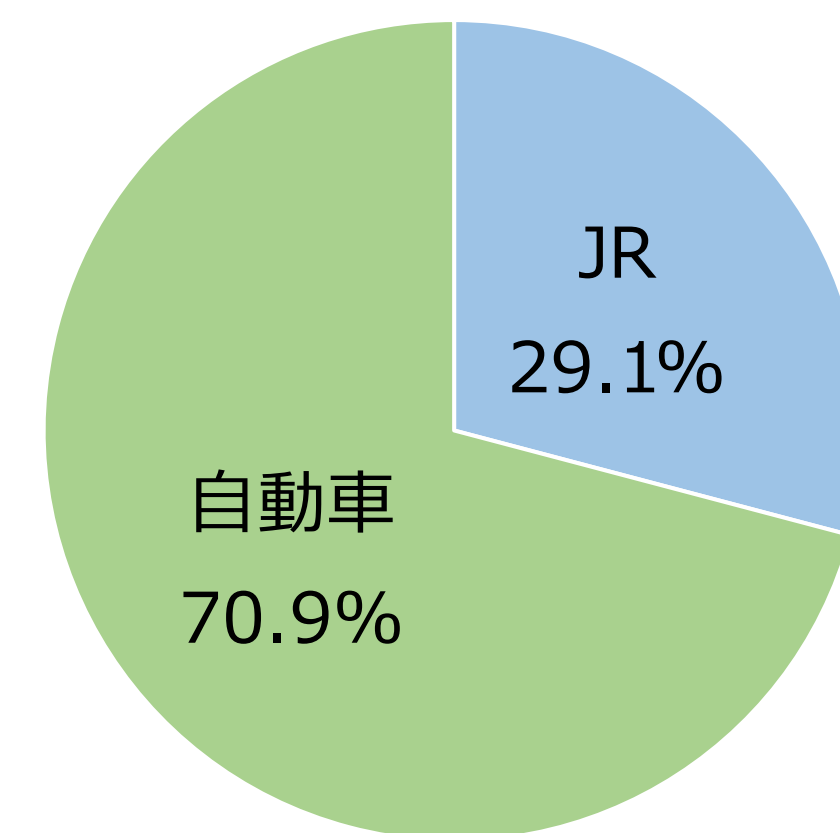
【日本人観光客(道外)】



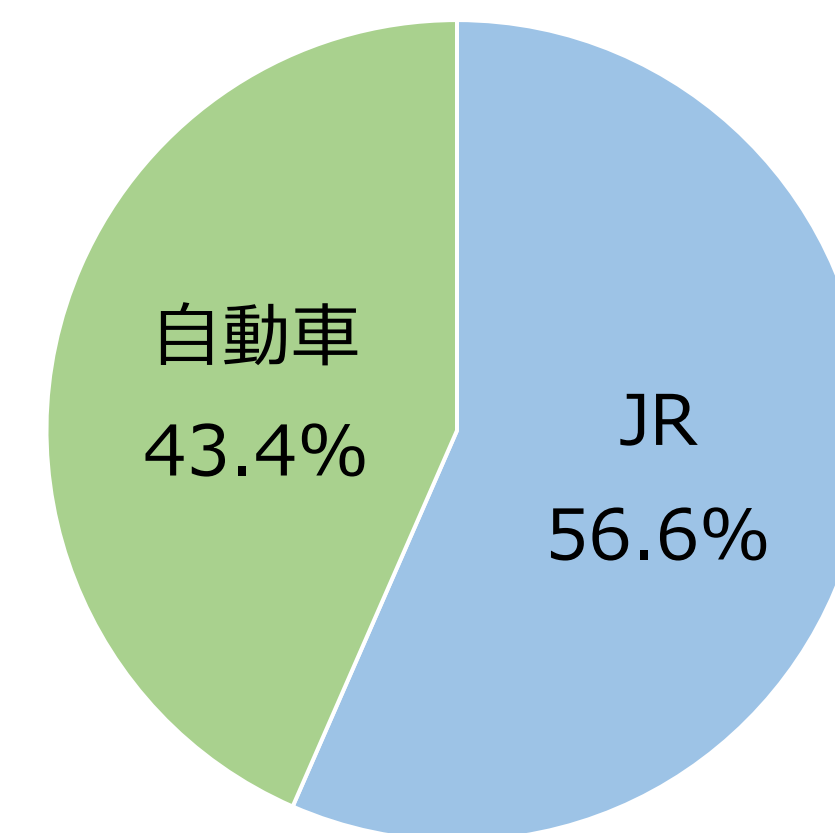
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】

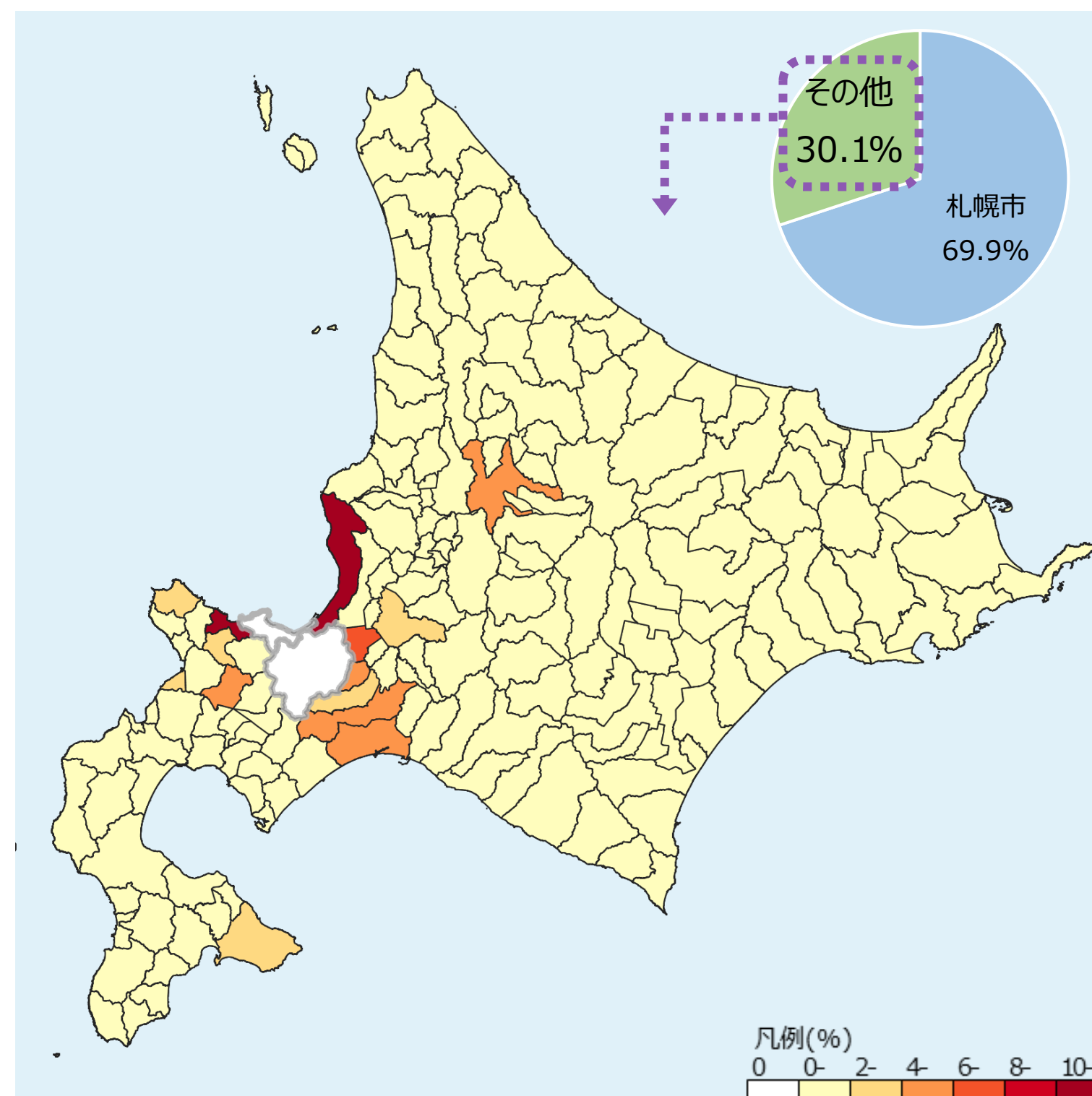


小樽市全域来訪者の周遊先（2024年）

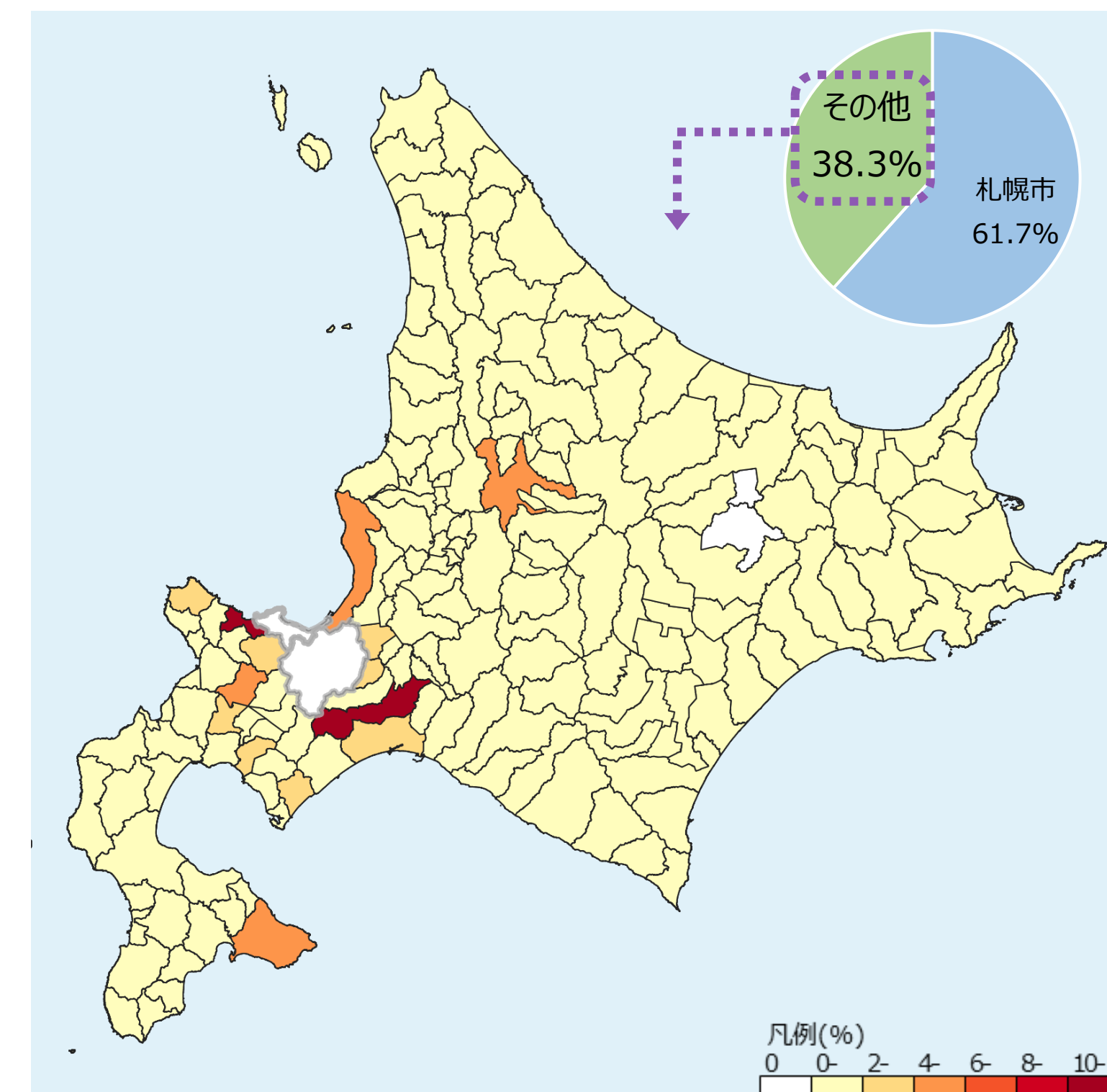
- 道内客は、札幌のほか余市・石狩との周遊が特に多く、次いで江別が多い。
- 道外客は、札幌のほか余市・千歳との周遊が特に多く、次いで石狩・倶知安・函館・旭川が多い。

● 周遊先分布 〈市外〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



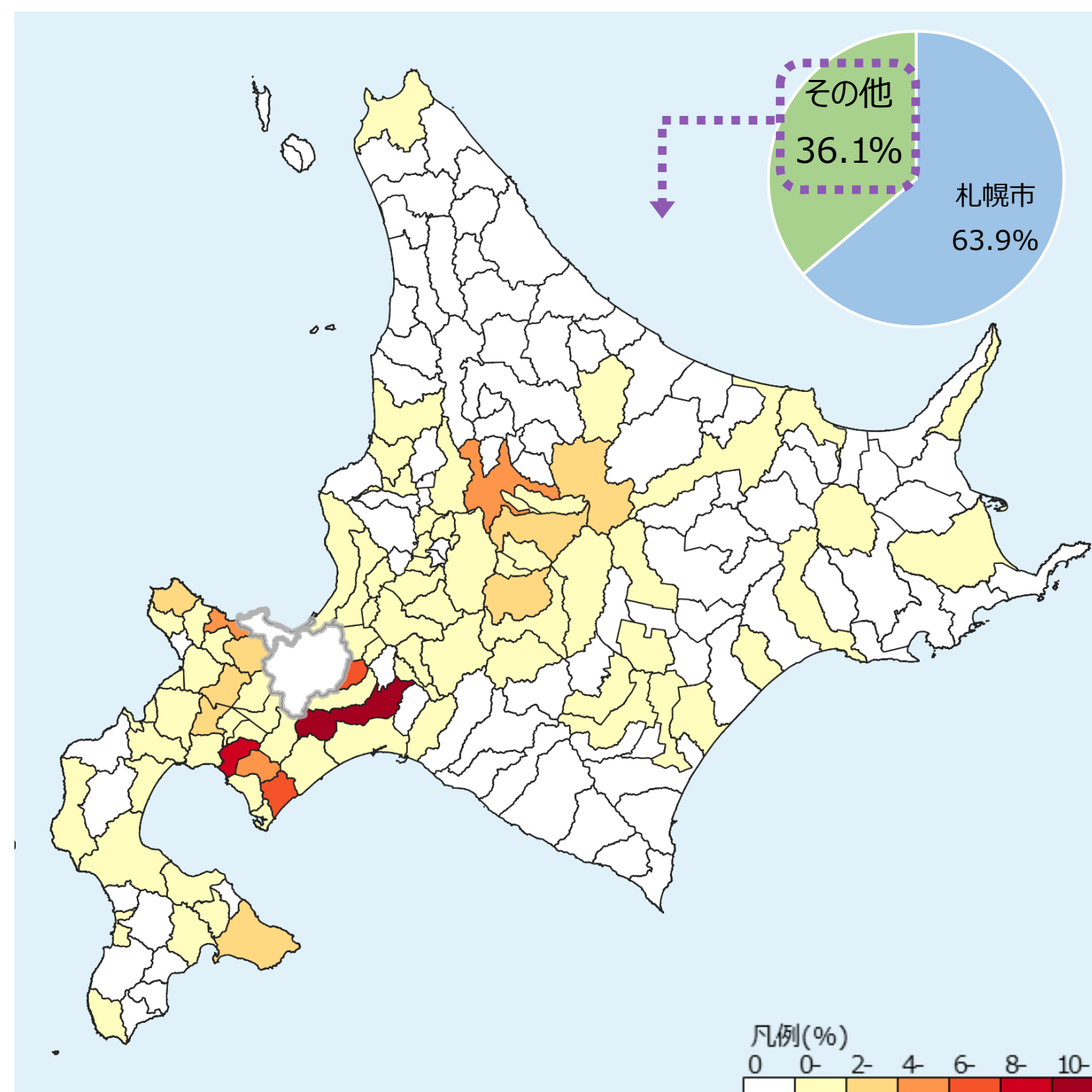
※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

小樽市全域来訪者の周遊先（2024年）

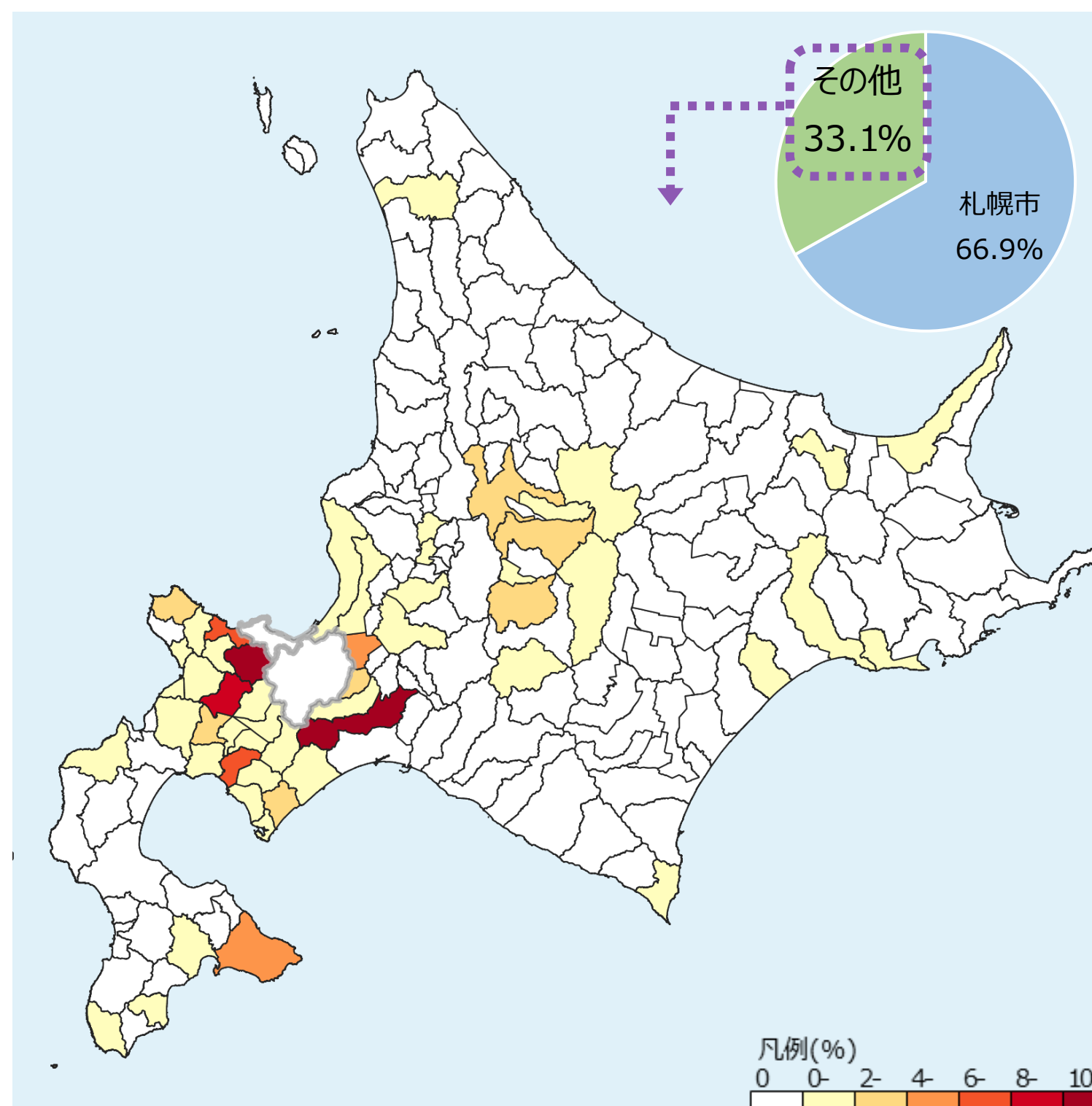
- 東アジア居住者は、札幌のほか千歳との周遊が特に多く、次いで洞爺湖・登別・江別が多い。
- 東南アジア居住者は、札幌のほか赤井川・千歳との周遊が特に多く、次いで倶知安・余市・洞爺湖が多い。
- 欧米豪居住者は、札幌のほか倶知安・登別との周遊が特に多く、次いで余市・千歳・上川が多い。

● 周遊先分布 〈市外〉

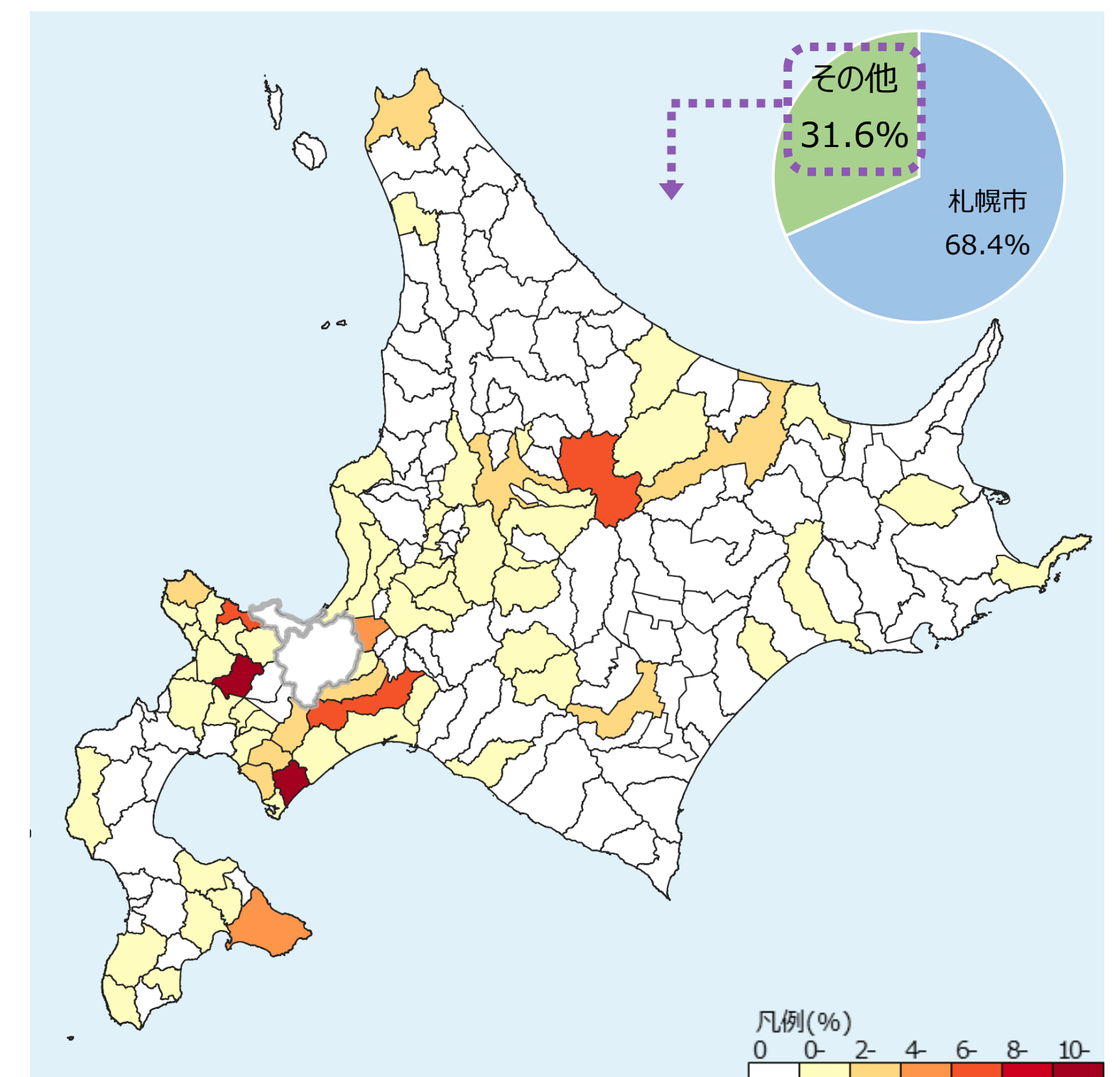
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



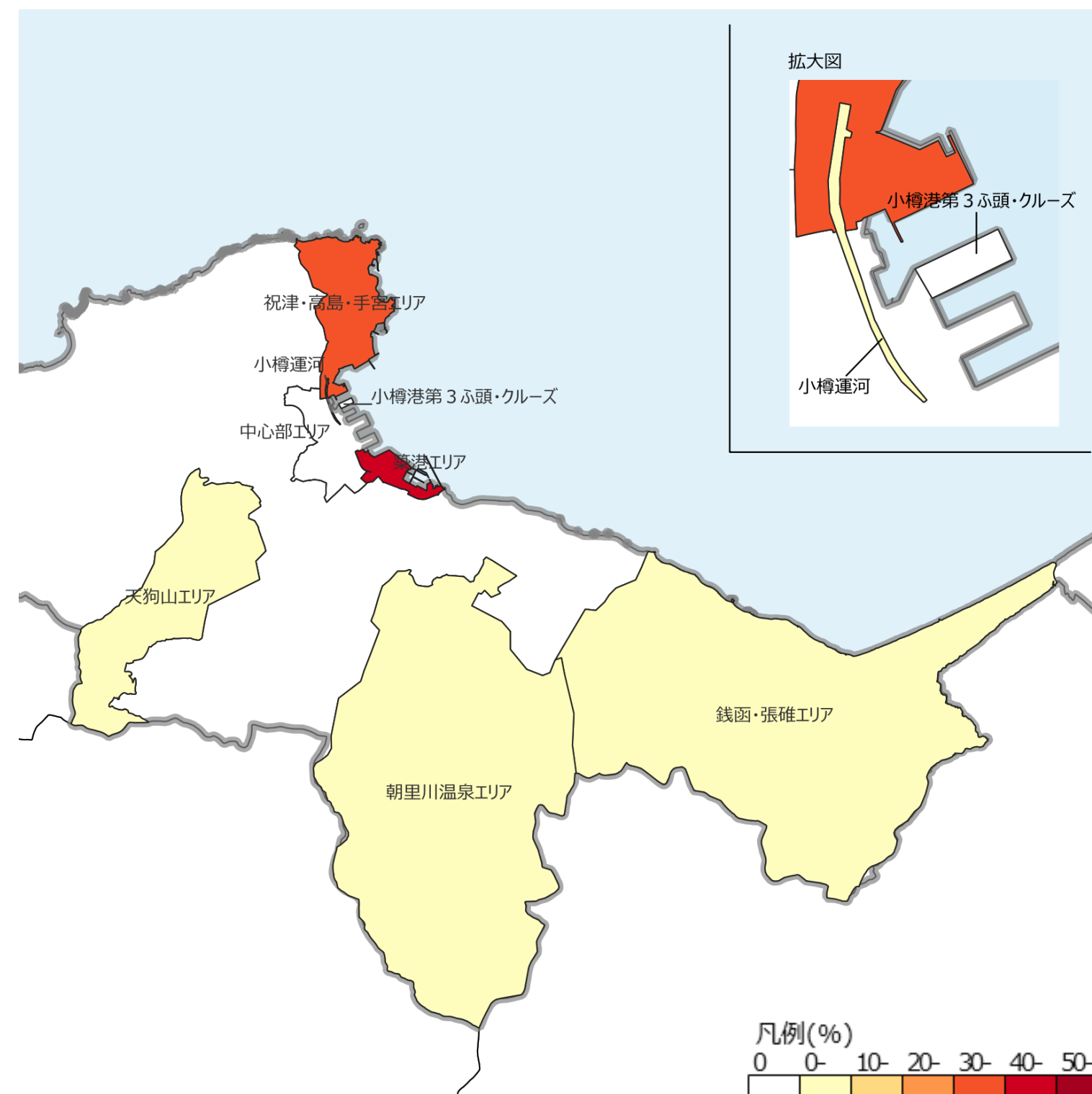
※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

中心部エリア来訪者の周遊先（2024年）

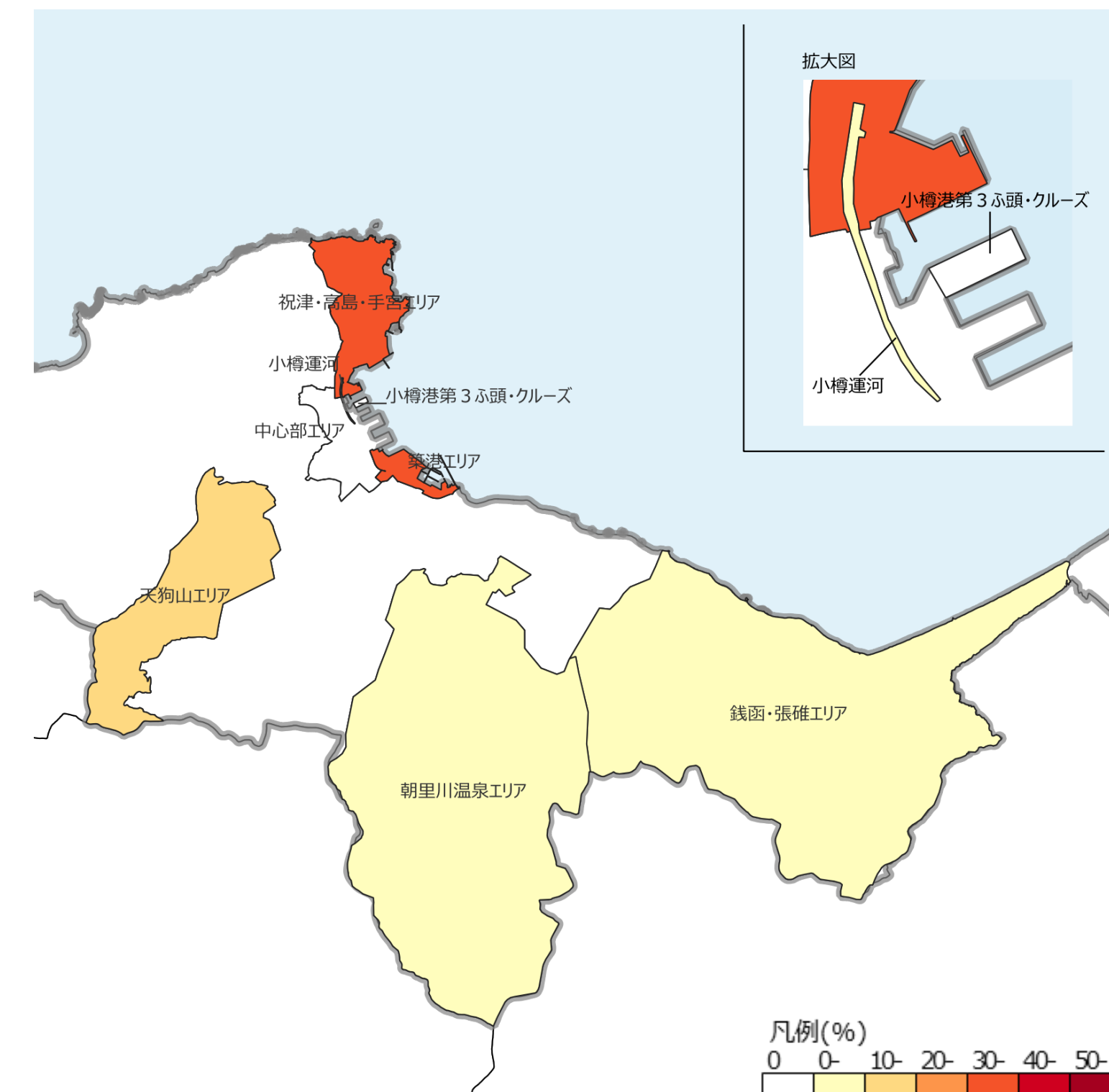
- 道内客は、築港エリアとの周遊が特に多く、次いで祝津・高島・手宮エリアが多い。
- 道外客は、祝津・高島・手宮エリア・築港エリアとの周遊が特に多く、次いで天狗山エリアが多い。

● 周遊先分布 〈市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】

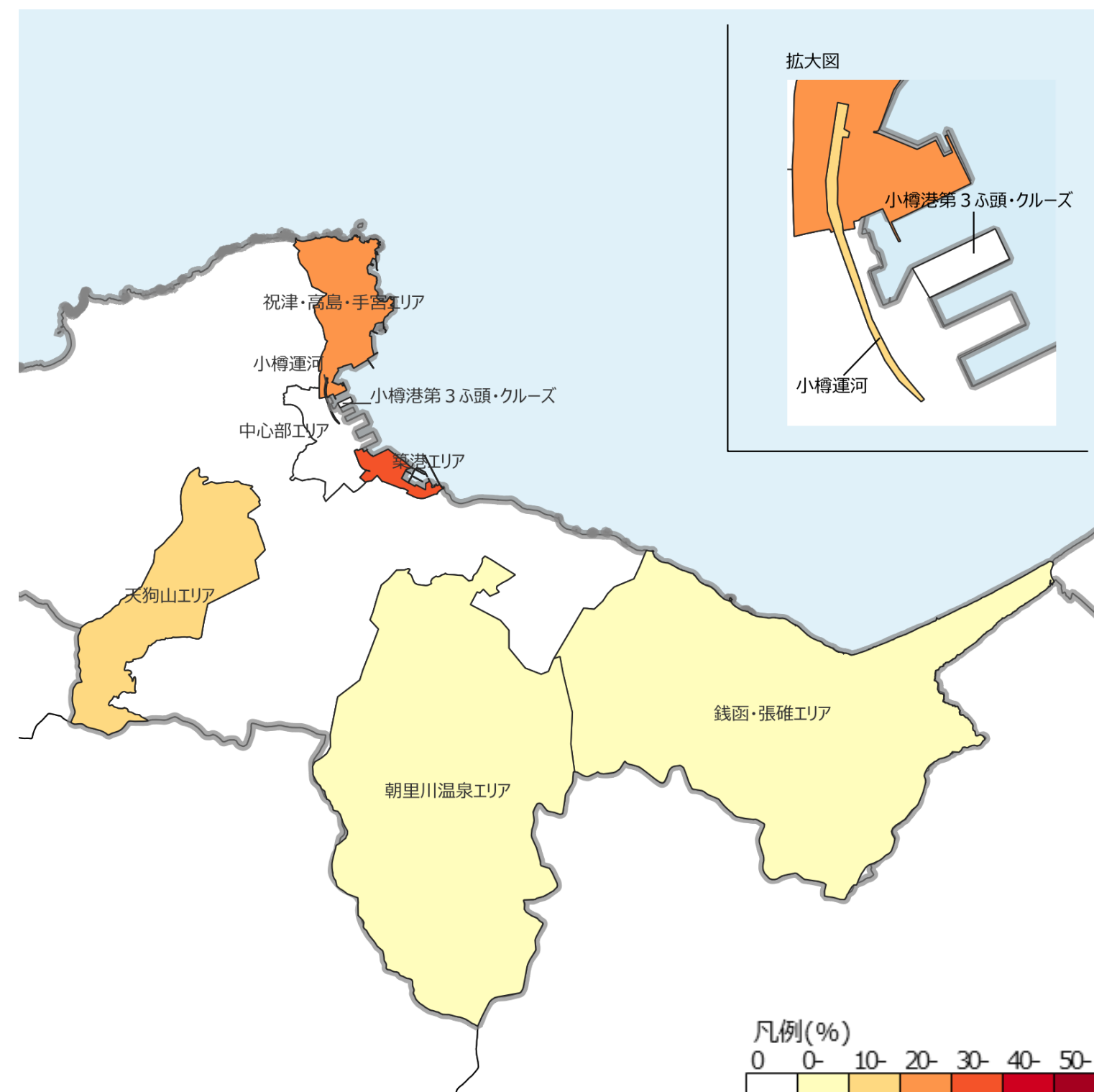


中心部エリア来訪者の周遊先（2024年）

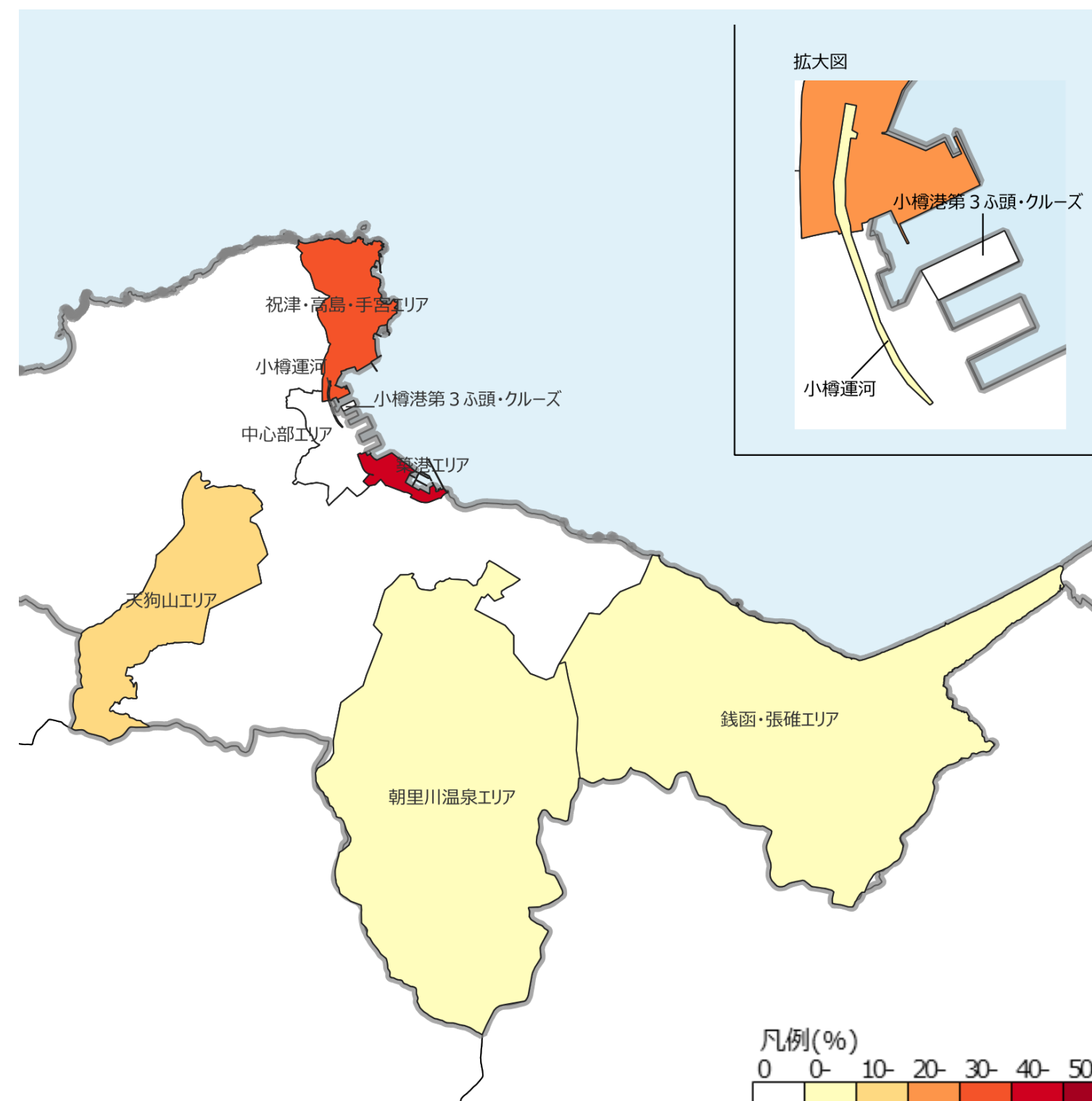
- 東アジア・東南アジア居住者は、築港エリアとの周遊が特に多く、次いで祝津・高島・手宮エリアが多い。
- 欧米豪居住者は、祝津・高島・手宮エリアとの周遊が特に多く、次いで築港エリアが多い。

● 周遊先分布 〈市内〉

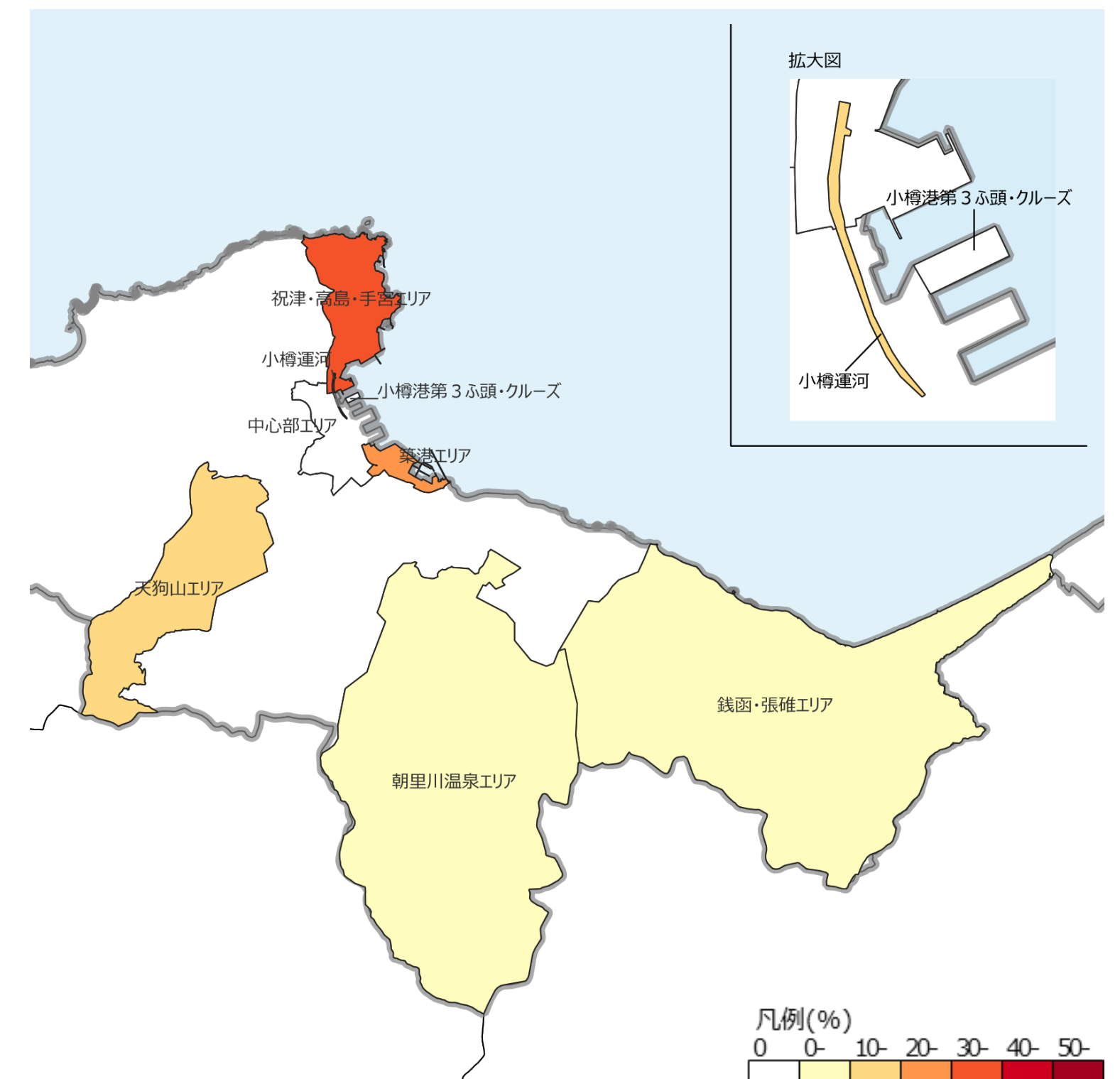
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】

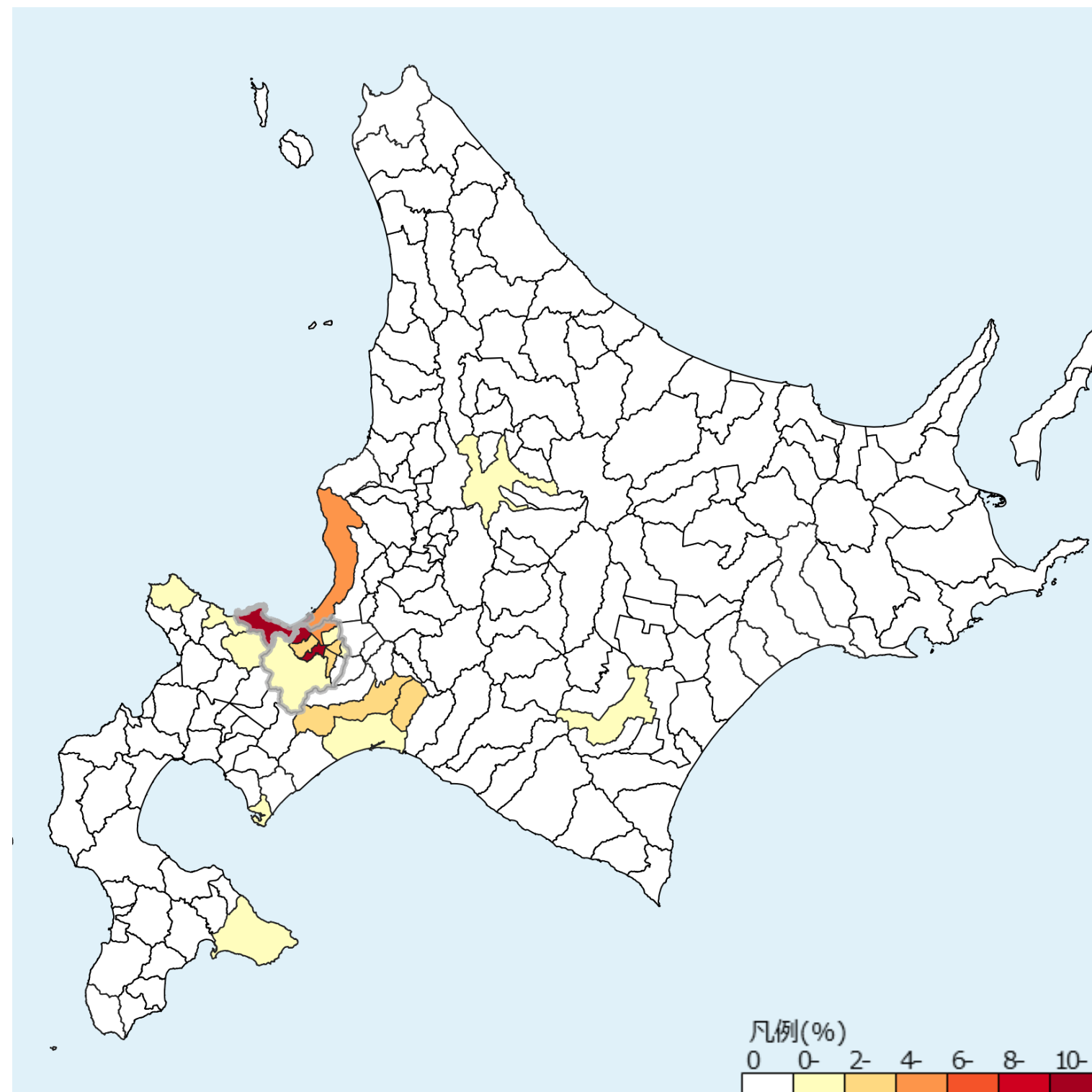


第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の周遊先（2024年）

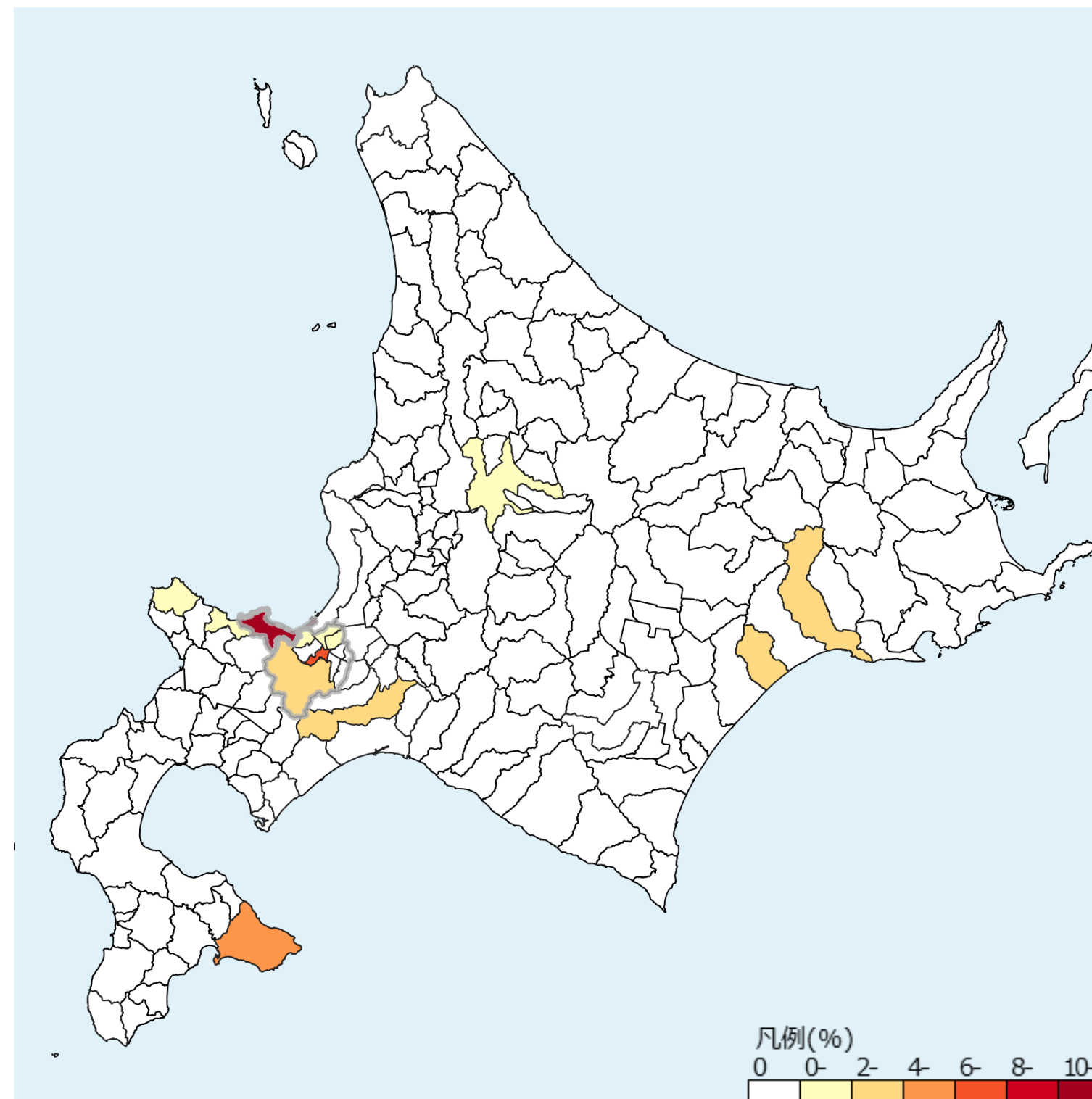
- 道内客の周遊先は、小樽市内のほか札幌市中央区・札幌市手稲区が多く、道外客は小樽市内のほか札幌市中央区・函館が多い。
- インバウンドの周遊先は、小樽市内のほか函館・札幌市南区・札幌市厚別区が多い。

● 周遊先分布 〈全道、2024年4～12月〉

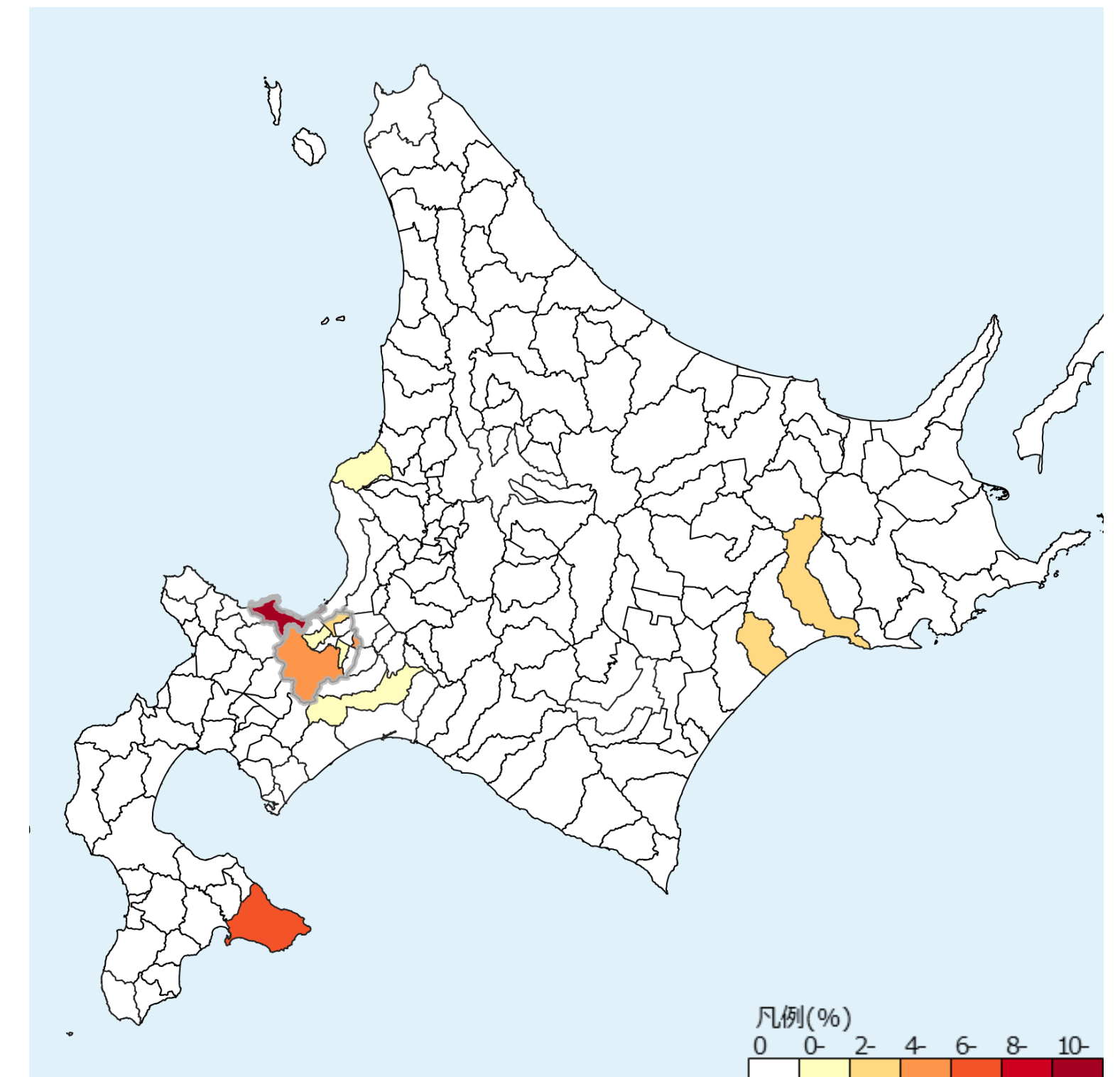
【道内客】



【道外客】



【インバウンド】

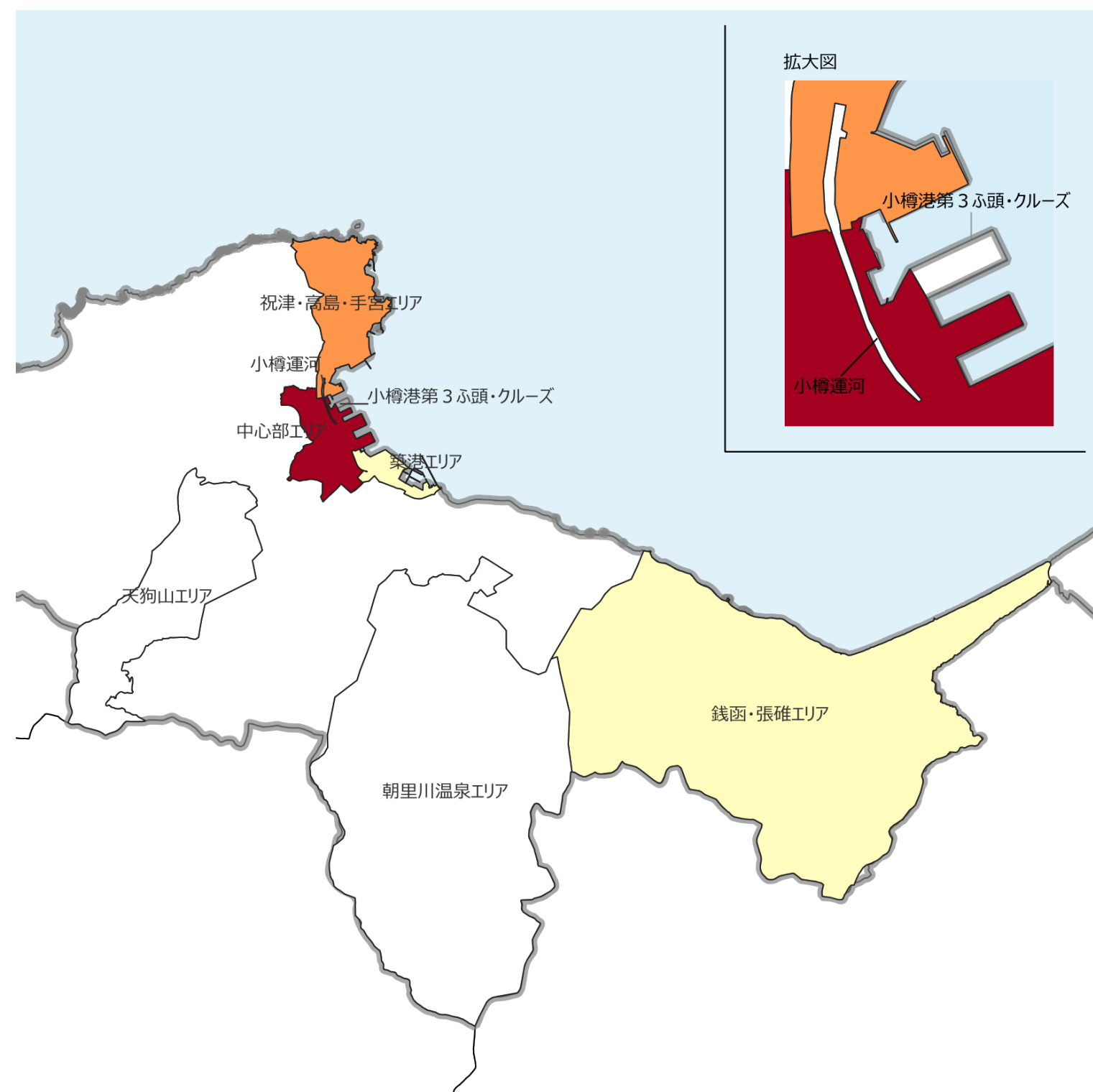


第3 ふ頭〈クルーズ〉来訪者の周遊先分布（2024年）

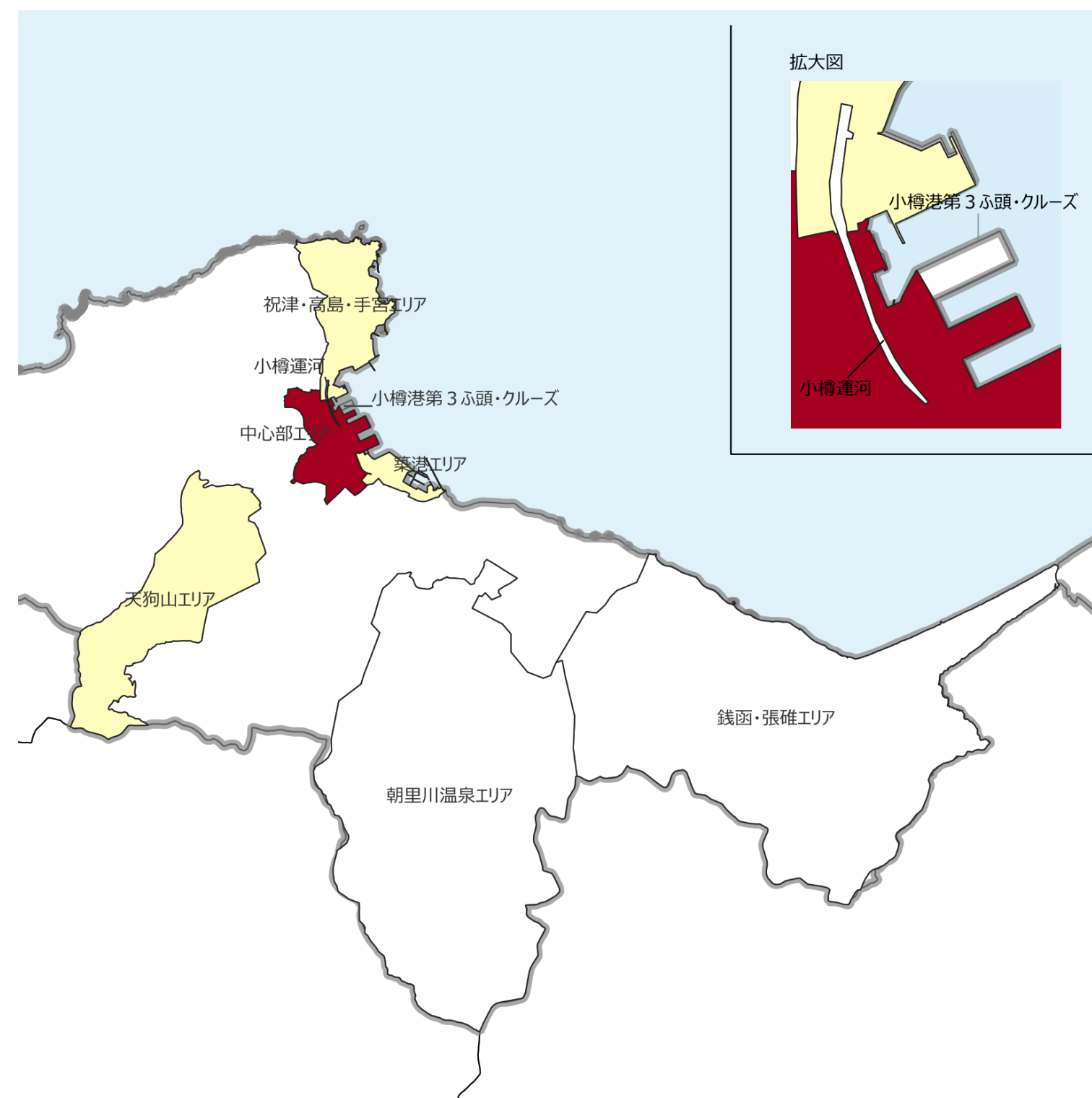
- 小樽市内における周遊先は、道内客・道外客・インバウンドともに中心部エリアが多く、道内客・インバウンドにおいては次いで祝津・高島・手宮エリアが多い。道内客は銭函・張碓エリアへの周遊も見受けられる。

● 周遊先分布 〈市内、2024年4～12月〉

【道内客】



【道外客】



【インバウンド】

